

3. 拠点機関関連事項

(1) 連携拠点機関で行っている「研究開発コーディネート活動」について

研究開発コーディネート活動と該当活動においてR S Pの果たしている役割

企業振興公社（平成12年度から15年度まで拠点機関）は、下記の部門からなる山形県の科学技術振興における基礎研究から応用研究、実用化、商品化、までの一貫した支援機能を有する総合支援機関である。

- A) 地域C O E（center of excellence）の形成を目的とした、先導的研究開発部門（山形県域結集型共同研究事業や生物ラジカル研究所）さらに都市エリア産学官連携促進事業、有機E L研究所
- B) 研究シーズの応用研究・実用化を目指すR S P推進室
- C) 同シーズの実用化・起業化をR S P推進室と共に担当する山形県新事業支援センターや地域中小企業支援センター
- D) これらを側面から支援する情報センター等

本事業として、これら各種支援プログラムを最大限に活用することを念頭に、他部門との連携を積極的に進め、研究シーズの実用化を目指している。

その際、研究者に対して、育成試験以外も含めて、山形県における各種研究・事業化支援プログラムを説明している。山形県では科研費への申請しか行ったことがない大学の研究者も多く、研究の各段階における公的支援が多くあることを述べ、その活用を勧めている。企業振興公社では、商品開発や市場開発段階のテーマに対する支援プログラムを多く持っていることもあり、本事業の次段階としてもこれら等各種支援プログラムにつなげることを実践している。

なお、最終年度（平成16年度）は、山形県の技術支援の中核機関として設立した産業技術振興機構は、企業振興公社から本事業を引き継ぎ、コーディネート活動を行ってきた。その際に、今まで述べてきた企業振興公社の支援策を活用しながら行ってきたところである

研究開発コーディネート活動の現状

「ネットワーク構築型」の時期において、各種研究会や「新技術フォーラム」の開催、また、山形県内の産学官の各分野の研究者を網羅した「山形県研究者総覧」の発行、あるいは県内企業リストの作成などにより、地域内外に人材・情報ネットワークを構築しており、それをフルに活用したコーディネート活動を展開している。本事業においても、今年度における「新技術フォーラム」の開催などに見られるとおり、引き続き産学官の優秀な人材及び情報のネットワークの拡大に努めている。

また、その間、山形県においては本事業と密接な関わりを持つものとして、次のようなネットワーク・コーディネート活動も展開されており、本事業が研究成果の実用化を目指した場合、高度研究機関の研究シーズを把握すると

共に企業側のニーズ情報を的確に把握しておくことが非常に重要であることから、これらとの連携が不可欠であり、積極的に関与、支援してきた。

- A)平成12年に全県を網羅する研究者、企業経営者、行政機関、弁理士、特許アドバイザー、公認会計士等でスタートしている「産学官連携やまがたネットワーク」の活性化に4名のコーディネータが積極的に関与することにより、生の情報が得られるよう努力している。
- B)県内4地域に計7名の「中小企業支援コーディネータ」が配置されることから、彼らとの連携のもと、各企業の情報（特にニーズ関連情報）を入手することに力を入れてきた。

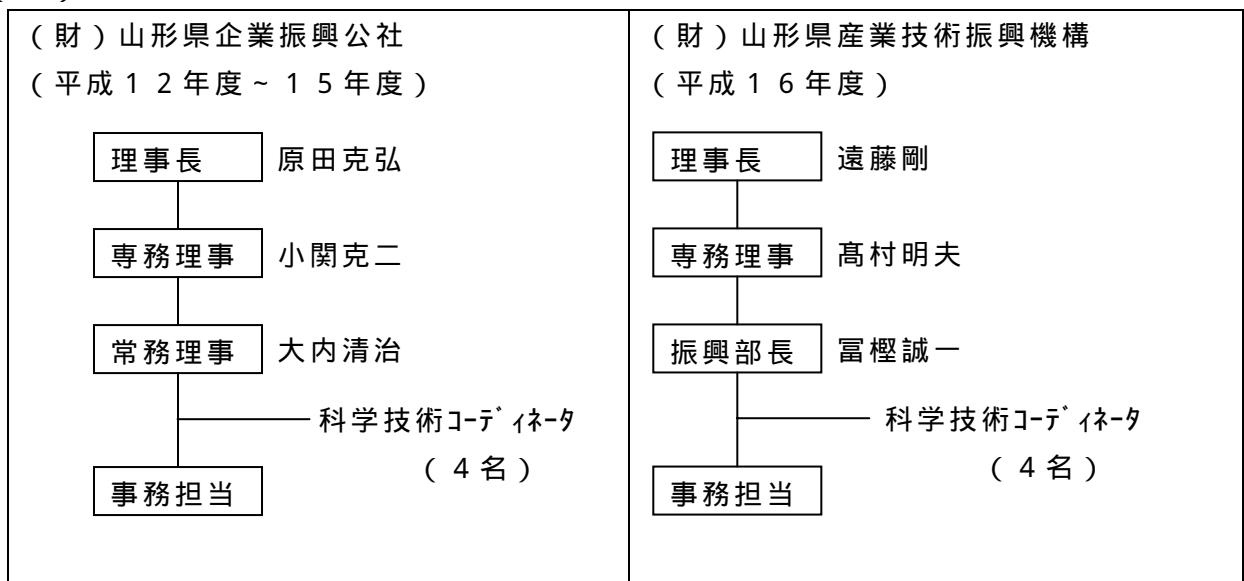
(2) コーディネート活動の成果の活用方法

コーディネート活動で得られた情報や活動成果については、コーディネータの人的ネットワークのみならず「産学官連携やまがたネットワーク」への研究会設立提案や他制度のコーディネータ等との情報交換を行った。さらに、将来実用化の可能性の高い成果については、国、県等の各種助成制度への橋渡しを行った。

また、特許申請や商品化等の成果については、官民の展示会（商談会）等へ出展し、それぞれの分野についてアドバイスを行った。また、「科学技術フォーラム」を開催し、成果の発表を行いPRし、コーディネート活動に関する啓蒙普及を行った。

(3) R S P 事業の推進体制

(1) 事務局体制



(2) 科学技術コーディネータ及び事務担当

	1 2 年度	1 3 年度	1 4 年度	1 5 年度	1 6 年度
代表科学技術コーディネータ	服部英悦	服部英悦 (6 月末退任)	石山浩章	石山浩章	石山浩章
科学技術コーディネータ	平野芳太郎	今泉博光	今泉博光	磯部豊	磯部豊
		影山辰宏	影山辰宏 (6 月退任)		
			浦山隆 (7 月就任)	浦山隆	浦山隆
			佐藤秀夫	佐藤秀夫	佐藤秀夫
事務局	(新事業支援課) 課長：丹野和彦 主任：後藤昌宏 嘱託：堀 義彦 事務員：菅原綾子	(新事業支援課) 課長：丹野和彦 主任：後藤昌宏 嘱託：堀 義彦 事務員：佐藤智子	(R S P 推進室) 室長：松田昌一 嘱託：堀義彦 事務員：佐藤智子	(R S P 推進室) 室長：大内清治 主事：澤田 健 嘱託：堀 義彦 事務員：佐藤智子	(フロント推進課) 課長：平山雅之 主任：三坂英彦 嘱託：松木佳代子 事務員：会田智子

(4) 今後の展開

山形県では以前から、先導的研究開発プロジェクトとして「生物ラジカル研究所」さらに最近では「有機エレクトロニクス研究所」の設立、また、「地域結集型共同研究事業」「都市エリア産学官連携促進事業」については、国の採択を得て実施してきたところである。これらは、いずれも大学等の研究機関が保有する最先端の技術シーズを活用してきたものであり、今後こうした産学官による研究開発を立ち上げ、県内産業の技術開発の向上を図っていく必要がある。本事業は、それらの技術シーズを実用化に向けてコーディネートを行ってきた。

今後は、これまでのコーディネート活動で得た情報等をさらに発展させ、数多くの実用化に結びつける必要があると考えている。その様な事から、山形県では平成 1 7 年度に産業技術振興機構への委託事業として、これまでの本事業で形成されたコーディネート機能を継承した事業を創設したところであり、今後とも積極的に展開する事にしている。